



在来種種子: ザンビアにおける自然農法の柱

現在32度から40度の暑い気温に悩まされているザンビアは、再び重要な農業シーズンを迎えようとしている。これから雨季が近づく中、ザンビア自然農法開発計画 (NADPZ) は、持続可能な農業の新時代の到来を告げるための準備を進めています。秀明インターナショナルからの寛大な支援のおかげで、NADPZ は東部と西部、両州の新しいグループに在来の自然農法トウモロコシの種子 1500 キログラムを提供するために必要な資金を得ました。これらの種子は希望の象徴であるだけでなく、この地域の農業の未来を変える上での在来種子の力の証でもあります。



在来種種子の利用は自然農法の重要な柱です。先祖伝来または伝統的な種子としても知られる在来種種子は、特定の地理的地域で自然に選抜、生産、栽培、または繁殖している種子です。これらの種子は、独自の自然環境の中で地元コミュニティによって慎重に選択され、管理されています。これらの種子を保存し、毎年植え直すことで、徐々に地域の環境に適応していきます。この実践は、変化する気候の中で種子が進化し、生存率を高める形質を選択し、生物多様性を維持するのに役立ちます。



在来種種子の真の管理者は、2006 年の自家採取プロジェクト開始以来、この持続可能な農法を実践しているムババラ地区の熱心な自然農法農家です。彼女等は、在来種種子栽培の伝統を守り、さらに改良し、未来の世代も彼女等の仕事から恩恵を受けられるのです。自然農法指導チームはこれら在来種トウモロコシの種子 500 キログラムを積み込んで、東部州チパタ地区へ向かいました。そして、カムワラとマクウェサ女性クラブの会員たちに慎重に手渡されました。



自然農法と種子保存の成功に不可欠な点として、農村地域開発への女性の参加が上げられます。女性は労働力として、また変革の触媒としての役割を果たしており、女性の参加が極めて重要です。女性は在来種子を育てる上で重要な役割を果たしているだけでなく、コミュニティ開発の最前線にも立っています。彼らの関与はコミュニティに力を与え、農業実践を強化し、コミュニティ全体の生計を改善しています。

中部州、ムンブワとカピリピルの女性組合への 1,000 キログラムの在来種子の配布は、自然農法の旅の始まりを示しています。これらの種子には、より明るく持続可能な未来が約束されており、今日配布された種子が強化され成長し、確実に将来の世代に受け継がれることが期待されています。これらの在来種子はザンビアの独特な環境に適応して繁栄し続けるため、気候の変化に直面したときの回復力と持続可能性の指標となります。

困難な気候条件に直面する時、在来種種子の使用がザンビアの農業に変革をもたらしてくれます。これらの種子は、回復力と持続可能性を象徴するだけでなく、伝統を保存するための地域コミュニティの団結と献身も反映しています。来年の進歩が大いに期待されており、NADPZは、新規メンバーが自然農法分野を確立し、種子保存の旅に乗り出すのを支援する上で貴重な支援をしていただいた秀明インターナショナルに心から感謝の意を表します。在来種種子を彼らの取り組みの中心に置くことで、ザンビアの農業の将来には大きな期待がもたれています

マウOFFア・コミュニティースクールを通じて 農村部の青少年に力を与える

マウOFFア・コミュニティースクールの設立には、ペンバ区マンボ地区の若い農民たちに活力を与えるという明確な目的がありました。そしてこのビジョンは秀明とNADPZのパートナーシップを通じて実現されました。両団体は、経済の成長を促進し、公共サービスを提供し、貧困を軽減する教育の力を信じています。

教育は特権ではなく基本的人権であり、個人に力を与え、視野を広げることで社会の発展を促進します。

マウOFFア・コミュニティースクールは、秀明インターナショナルの支援により、両親が学費を払えない子供たちを含む、恵まれない農村地域に教育を提供しています。資金が限られている過密な公立学校とは異なり、マウOFFアはより質の高い教育を提供しています。

この学校のユニークなカリキュラムは農業と農村開発を優先し、地域の進展を促進します。

私たちは、特にインフラの強化において、この重要な地域社会機関の設立と改善に貢献していただいた秀明インターナショナルの寛大な貢献に非常に感謝しています。その揺るぎない支援は、今後数年間で数え切れないほどの若い生徒たちの人生を変えることでしょう。

このプロジェクトはまだ始まったばかりですが、子供たちが成長し、教育は彼らの将来を形作ることを通して、私たちの取り組みはすぐに目に見える形となっていくことでしょう。

改めて、皆様のご寄付に深く感謝し、それがマウOFFア・コミュニティースクールとそれに関わる人々の生活に継続的なプラスの影響をもたらすことを楽しみにしています。私たちは力を合わせて、地方の若者たちの明るい未来を創造し、彼らに地域社会で成長できるよう力を与えています。





2023年10月14日、NADPZのプロジェクトマネージャー、ビューティー・チョマは、チランガのムンダワンガ植物園で開催された第6回伝統的な種子と食品のフェスティバルに出席しました。このユニークなフェスティバルは、ザンビアの文化と伝統の典型的な祭典として位置づけられており、ザンビア固有の伝統的食品と種子の奨励と保存に重点が置かれています。このフェスティバルは単なる料理の祭典を超えて、農民の権利、消費者の権利、土壌の健全性に焦点を当て、重要な農業および食品部門の改革をさらに推進するプラットフォームとなっています。

今年のフェスティバルでは、持続可能な食料生産システムの重要性が強調されました。それは、種子などの地元で入手可能な資源を活用して、健康的で多様な食品を幅広く生産することを推奨しています。これにより、私たちはより回復力があり、環境に責任を持つ未来に近づくことができます。

今年のイベントに参加したことで、来年のフェスティバルがとても楽しみになりました。これは、志を同じくする団体が集まり、アイデアを交換し、農業および食品分野の進歩を促進するパートナーシップを育む素晴らしい機会です。このようなイベントでネットワーキングを行うと、より持続可能で文化的に豊かな世界を追求しているのは私たちだけではないことを思い出させられます。

ネットワーキング: 同じ考えを持つ人々とつながる

